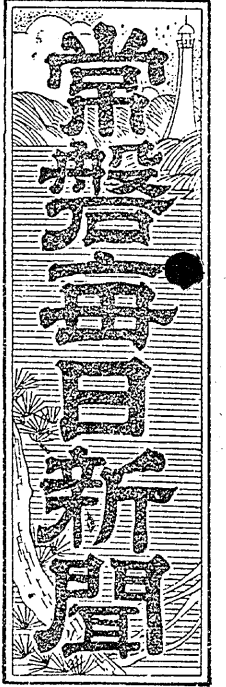


刊夕日四十月七



定価 一部全五銭 五折減郵税五原
 廣告料 五銭 十二字第一行五銭 五折減
 印刷費 印刷費 印刷費 印刷費
 發行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

歴史を中斷するもの

S R 生

【四】

そして國家の大任を本當に背負ひ込んでゐるものは都會人にあらず、メートル法使用を便利とするものには非ざることを承知すべきである。

今日、一般に小學校に於ては、メートル法が採用せられてゐて、尺貫法を忘れてしまつてゐる。今時尺貫法を知らぬものなどといふ非難をするのであるが、子供にさういふことを教へてしまつたために親子の關係をそれによつて切斷しまつた。廣く一般に云へばかういふ思想によつて日本の歴史を中斷せしめた。この歴史中斷の罪は何人に歸するか。所謂一般理論を專とする學者に歸すべきであらう。

四 國語の改正
 自己を忘れ去つたもの、一つに、なほ國語の改正案なるものである。これが發表されてかれこれと論議されてゐるときに、つひにこれが有邪無邪の中に葬り去られたことは誠に慶賀すべきことと云はねばならぬ。

きことと云はねばならぬ。なるほど東京といふ都會を中心にして標準語を定め、國語讀本といふ一般的のものを定めてそれを一般的に教へようとするが爲に、小學校の教師が如何に困難をしてゐるかといふことに對してはむしろ同情に價するものがある。然しそれは前にも云つた枝葉末節に走つてゐる苦勞であつて、もつと根本に歸するといふこと

- 朝 味噌汁・牛蒡 小皿 やきのり
- 晝 卵の花煎り(酢とり せん生菜) 福神漬
- 晩 オムレツ(玉葱みぢ ん入り)

ろからすれば何んでもない事である。一體、東京の言葉が抑も都會生活を本とした誤である。例へば四國や九州の或る地方では古い言葉を正しく有して正しく發音してゐるものがある。それを精しく調査して地方地方に基いてそれを兒童生活の日常に即して正しく教へて行けば、それで根幹に歸り得るのであつて、比較的容

文藝募集

日本式ローマ字が出来た。例へばシを シ と書かずに シ と書き、フを フ と書かず フ と書くべしと云ふやうな議論が勝つたやうであるが、これ即ち日本の本來の發音——今我々の普通誤つてゐるのを糾して——に立ち戻つたことになるのである。誠に奇妙なことである

内外科 一般
金成醫院
 金成 忠 義
 平鎌田町(電三五八)

公認甲種
 電動機・變壓器・電燈
 發電機・捲線修理・動力
電気工事
 設計請負
 平研町(電呼二五七番)
石田電機工業所
 石田亮三郎

ヒヨケと雨具
 敷島ヒヨケ如何にと人とおぼ

日除	店舗用、事務所用 御座敷用、其ノ他
雨具	トラック用、馬車用シート 作業用、各種雨衣

 朝日夕日に便利なるかな
 除日・覆雨器・幕天山登
敷島テント商店
 平町六丁目

旅大幸館
 私には平町出生ですから特に郷里の皆様方の爲めに御便宜を圖ります
 主人 **比佐棟雄**
 前驛野上東京
 角通横局便郵谷下
 番七七六園谷下話電

時代の要求皆様の足!!
尼子タクシーへも
 豆タクが入りました
 御立廻から立廻へ……迅速簡便
 是非御利用を……
 市内……三〇銭 市外……四割引
 流線型セタン 大型貸切バス
 宮行——直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします
 平町二丁目
尼子自動車商會
 電話六四〇番

高久病院
 院長 醫學士 高久 忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
 平町田町 電話五二三番
 内科小兒科 外科花柳病科
 耳鼻咽喉科 レントゲン科

新築落成
成落築新
 大衆奉仕を念願とし社會中層の業を開始致しました。調度品一切新調、室内電話の設備あり
 眺望 並に清新の氣分に於て他に遜るに適當な處と存じます
 室賃を主とし……事務致しませ故御食望みに依り差上げる設備もありません
 茶代は勿論申受けません
 何卒御引立の程を願ひます
 平郵便局通り(吉田新聞店前)
 や よ ひ 館
 【電話七六番】

國道舗装や其他の

陳情に町村長上京

國道六號線(平...久ノ濱間) 改修は過般平、神谷間國道 改修着工を動機とし地方民 多年の懸案たる地方産業開 發の建前から之が實現促進 方の要望に拍車をかけ昨十 三日平、湯本、植田、勿來 四倉、大浦の六町村長(平 は酒井助役)が上京内務省 土木局に三浦專屬技師その 他を尋ねて之が實現方の陳 情を行ふ處あつたが結局考 慮するとの回答を得、更ら に東京鐵道局にガンソリカ

縣會決定の

振興工事

臨時縣會で決定した振興豫 算で施行の郡内の道路並に 砂防工事ヶ所は左の如し
 ◇道路工事 △石川湯本線 (入遠野村大平—同石住)
 △江名小名濱線(江名町 下神白—小名濱町) ◇砂 防工事 △鮫川流域鷹ノ巣 澤護岸工事(上遠野村深 山田地内) △藤原川護岸 工事(磐崎村藤原)

市外通話

最高記録

平一局ヶ月の

廿日納期の分 參千圓に近い 個人は百五十圓が最高

平郵便局の市外電話料來る 百廿日納期の分は總額二千 九百十四圓五錢であるがそ のうち最高使用料金は百五 十二圓二十錢次は百三圓七 十錢で同局使用料金の最高 記録では昭和九年十一月の 某商店分二百三十三圓には 遠く及ばないと

町村農業

技術員會

郡下町村農業技術員會は昨

十三日午前十時から四倉町 藪市場で開き左の件を附議 して午后三時閉會出席者卅 餘名
 △小麦、菜種收穫状況に 關する件 △大麥検査施行 の件 △蓮華草増殖の件 △ 菜種品種選擇 △小麦菜種 品質改善共進會開催の件 △自給肥料の件 △桑葉の 施肥に關する件 △稻作の 監視

勿來に拂下米 勿來 村農會は豫てより政府拂下

鐵道側の 猛者出陣

平驛の劍道會

昨報平鐵道俱樂部は來る十 九日午前九時から平驛會議 室で劍道部發會式及第一回 劍道大會を催すが當日の呼 物である水戸運輸管内各驛 の有段者對平地方有段者の 對抗試合には同管内の強豪 三段二名、二段六名初段一 名が出陣平地方有段者を一 蹴すべく猛練習中である鐵 道有段者左の如し
 (三段) 水戸 本時 同保 科武 (二段) 平志賀義一

値は高いが 發育が遅れて

菜種の出荷少しらしい

石城共販組合では本年度菜 種の第一回共同販賣を來る 廿日に行ふが本年は降雨多 く冷氣續きの關係から菜種 の發育が例年より一週間遅 れて居り殊に本年相場は昨 年百斤に付八圓二三錢で あつたのが十圓以上の騰貴 を見せて居るので農家では 大いに期待して居るが發育 が遅り處から第一回共販迄 に出荷するのは極く僅かな るものであらうと

夏の御飲み物

アイスクリーム
 ミルクゼーキ
 ソーダ水 色々
 アツキアイス
 別味 みつ豆

例年通り始めました
 ほどよく香のよい 宇治名産氷挽茶、御土産に 好適なクリームモナカも御座います。

平ニ警察署通り

魚清食堂

電話六三三

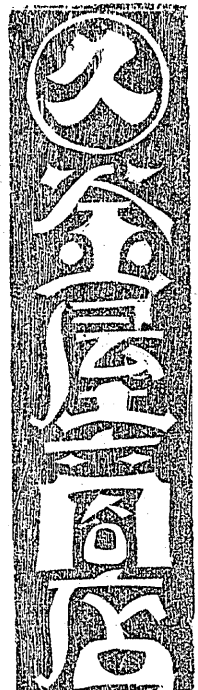
九ミリ半
 小型活動寫真機

改良された前進號
 撮影機 ¥ 25.00
 映寫機 ¥ 24.00

(カタログ進呈)

平ニ電 3

西村屋藥局カメラ部



磐城セメント會社特約店

良品廉賣に勝る商略なし
 確實敏捷は生命なり

磐城平町五丁目 電話九九九

「お定」式の戦法で

巡查部長を苦しめ

荷馬車を捨てて逃廻る

消防組員協力して逮捕

一丁目角で大格闘

十四日午前四時頃平町大町古物商横田平造方へ荷車にドラム空罐を満載買込みに来た男あるを同家主人が不審と睨み平署に斯くと

急報したため渡邊温部長が逮捕に向つた處危険をさとつて逸早く逃走した附近を捜査中午後六時頃同町南町地内を徘徊する件の怪漢を發見誰可するや矢庭に荷車を捨てて逃走、巧みに小路々々をたどつて逃げまわるのを

追跡して 同町一丁目水野菓子店前に追ひつめて大格闘となつたが突然怪漢のため局所を掴まれて同部長が危機に瀕したのを折柄通行中の同町消防小頭高橋澤長太郎、消防手戸部久吉小泉廣の三君が協力逮捕した

右は内郷 村大字小島新町二九ツ屋業佐藤大次郎方雇人伊達郡梁川町大字生れ宍戸一(三)で空罐は内郷方面より窃取したものと判明目下追索中 尚温部長は逮捕の際全身數ヶ所に打撲傷を負つた外局所負傷目下同町大河

平橋の開橋式決定

開橋式決定

【既報】平町と平窪村境界の夏井川に架かる平橋(元幕之内橋と呼稱)はこの程竣功二十六日に開橋式を行ふ事と決定

郷土的學級經營

教育會講習

石城教育會は八月二十五日から三日間東京女高師教授清水甚吾氏を招き平第一校講堂に於て日本及び郷土的學級經營の實際に就いて夏季講習會を開く由

暑中集配

平局で緩和

廿一日から 平郵便局では暑中に於ける集配難を緩和する爲め來る廿一日から八月一杯市内外の集配便を左の如く變更する

△市内取集一号便を中止



明日のラジオ

今晩は南の風晴一時曇り明日は東の風晴後曇り

今晩の部

後六〇〇 童話 石田優子 丸井澄子 阿部洋子 後六二五 青年の時間 「ヨーロッパの工場を巡りて」 隈部一雄 後七三〇 講演「勞作と人生教育」 小西重直 後七五五 日佛音楽交響

明日の部

國際放送 後九〇〇 ユーモア物語 「めりけん商賣往來、白い襟をした渡り鳥松井翠聲 後九三〇 時報 ニュース 明日の話題 氣象通報 番組預告

十錢安値

農倉の共米

既報平農業倉庫で去る十一日行つた飯米八百二十八俵の共同販賣は高値十二圓七

暑熱と闘ふ

第一校のプラン

昨日の職員會で決定

日一八月一日、一泊二日(場所)湯ノ澤及び箕輪村 高野五年以上希望児童(會費)三十五錢白米五合 ▲ラジオ体操(期間)八月一日一二十日六時から六時半(場所)平第一校庭 ▲武道、球技、夏季特別指導(期間)八月二十一日二十八日(場所)平第一校庭にて六年以上の希望児童

けふ体操演習 去る十一日雨天の爲め延期され

裁判一東

本修一(京都) 前七〇〇 朝の修養「碧巖録」伊藤道海 前八〇〇 孟蘭盆會法要 池上本門寺中繼 前一〇三〇 家庭講座「夏のこん虫と傳染病」谷口映二 後八〇〇 佛敎音樂 藤園立 佛敎音樂協會聖歌隊 後八三〇 國民歌謡「椰子の實」東海林太郎 後二〇〇 婦人講座「短歌と俳句の味ひ」方作 方 水原秋櫻子

後六〇〇 お話「水泳が上手になる法」松永正雄 後六二五 基礎英語講座 鹽谷榮 後七三〇 趣味講座「捕物の話」原胤昭 後八〇〇 思ひ出のレコード 後八三〇 俚語「仁別の抽唄」他 秋田縣仁別村夫連中(秋田) 後八五〇 舞臺劇「五所櫻堀川夜討」竹柴梅松補綴藤彌太物語の場)市川三升他

平職業紹介所報告

求人を求める方 △自動車助手 廿才迄 卒 給料三三〇五圓 △出前持 十五才迄 卒 給五圓 △職を求める方 △見習看護婦 廿三才 高卒 △サイドカー運轉手 卅才 卒 △コック 廿四才 卒 △化學藥品職工 廿一才 中卒

八坂神社祭禮 縣社境内八坂神社の大祭は今朝の二日間執行されるが今晩は漫藝一座の餘興がある 山神祭で増結 平驛では十五、六の兩日執行される茨城縣日立鎮山の山神祭の爲め兩日平水戸間に二十輛の客車を増結する

青年團の餘興

平窪村利安寺境内鎮座澤村神社祭典は昨日十三日宵祭りを執行、地元青年團の餘興等多數あつて賑つた

磐中野外教練

磐中一年生二百五十名は今十一日好間村方面で大井川配屬將校其他各係官指導の下に野外教練を行つた

中野齒科醫院

院長 日本齒科醫學士 中野 惠次 日本齒科醫學士 西川 誠 一齒科一般 保存科補綴科 繼續架 工科 齒列矯正科 小兒齒科 齒槽膿漏科 一口腔外科 一レントゲン科 平町田町(松月堂向ヒ) 電話五〇九番



解る謎の瓦解の謎 (上巻) 悟道軒圓玉 (作) 尾至陽 (書)

一七〇 とどろく砲聲 井口平左衛門は薬袋を出してそれに居る出入りの者にむかい 平「俺のあるところにはこれを出して置く、これは俺の旗だ」と申した。

〇「成程、薬屋だけに麻の袋を目印にするとはおもしろい今のうちから支度をしておきませう」 と井口に出入りの者は平左衛門の指揮によつて働くことになつた。このことがお成り街道に知れるとあの邊の商人が集會して

△「賣り出しでもするのかね」 ○「なアにそんなことぢやアねえ、お前さんは井口のことを聞いたかね」 △「ウーム聞いた、戦になれば上野に入つて働くことにして出入の者はのこらず揃つて行くさうだ、又井口の出入りのものといふことを知らせるためにとそ



に頭をいためた、これを聞いて居た例の奇人三河屋幸三郎 幸「こゝにいゝことがあるといふはわたしのところに火薬があるそれを持つて来てこのお成街道によつて官軍が通る時に破裂させたならばあいつらは紛なになるだらう」

にばかり骨をおらして見てゐてはこの土地の恥になる何んとか工夫して官軍がおして来たならば腕前を見せつけてやりたいものだ」 △「どんなことをしたのかな、アツといはせるやうな新しい趣向はないかな、ハテ何んとしたものか」とこのことについて大い

よせた火薬をお成街道にうづめイザといへば口火をさすばかりにしておいた、ところがこの地雷火が役に立たない、何故立たぬといふに、いくさになるその前夜から雨が降り出してこの火薬がながれてしまつた、これは官軍の幸ひ、これほどまでに江戸の人は彰義隊に同情した。 さて天野八郎は五月十四日の夜半、土井伊織をつれて上野を巡視したが持口にはきびしく固めがついてゐる。しかし人数は不足この時は一千人、それ三十萬坪からある廣い土地をかためるは無理です。 八「土井、大將が軍事にうといとその下に居つて働くものは氣の毒だな隊の者に

海水浴は豊間へ!!! 浴場 白砂青松 一日の潮干狩 お家族連れも絶対安全 豊間 海水浴場 沼内 海水浴場 沼内内財辨天 鹽屋崎燈臺 二見ヶ浦 (無料脱衣場) 娯樂の設備あり 設備 (一疊壹圓内外) 御紹介あれば 貸間 御便宜取計ひます 自動車料金 期日七月十五日ヨリ八月三十一日マデ特別割引 平.....豊間片道三十銭 (往復) 四十五銭 平.....薄磯。沼ノ内 片道廿五銭 (往復) 四十銭 主催 豊間村青年團 後援 豊間村消防組 野崎自動車部 電話三四三三三四〇番 鈴木自動車部 電話二二七番

例年の通り やな川なべを 始めました。 御一人前 金二十五銭 御二人前 金四十五銭 出前は迅速に御用便を勉めます。 其他御料理は御望に依り調理致します。 田町 石川亭 電話四十三番

外科 門線 科光 上田外科醫院 平町南町 電話一二九番

毎度御引立を戴いてゐる 藤寅では例年通り 冷たい美味しい飲物 アイスクリーム、アツキアイス ミルクゼーキ、ソーダー水 ミツ豆、クリームソーダ 其他氷水各種 相初めました。是非夏の夕の御散歩歸りに御立寄り下さい。 平一丁目 藤寅 電話一四一番